

# TAC松本校受講生 合格体験記

2010年合格目標 公務員講座 総合本科生

K. Nさん(伊那市・27歳・女性・会社員)

**労働基準監督官合格**

## 公務員を目指した理由

私は労働基準監督官を目指しました。理由は仲の良い友人が何人も会社(他社)を辞めていて、自分が仕事を続けてこられたのは勤めていた会社の労働環境が良かったからだと感じたからです。

会社でつらいことがあって、何度も辞めたいと思うことはありましたが、気持ちを立て直す時間がありました。残業代などもきちんと出ていました。

友人たちのために何か出来ないか、と思っていたとき監督官募集のポスターの「仕事のやりがいをももる、やりがいのある仕事です」というフレーズに心打たれました。働いて思うのですが、労働者はやはり弱い立場にあります。それでも生きるために働かなければなりません。働き続けるためには最低限の労働環境が維持されなければなりません。労働法がそのための役割を果たしてるのだと感じます。

労働者が働き続けるための働く環境を守る監督官の仕事に大きな魅力を感じました。人生をかけたいという職業に出会えて幸せでした。

## TACを選んだ理由

監督官も公務員試験であり、学生時代公務員試験を目指す友人たちの勉強ぶりに独学では無理だと感じていたので、公務員予備校を利用することにしました。

TACを選んだ理由は公務員予備校としても有名であり、定評があったからです。また、学生時代に通っていた公務員志望の友人も多かったからです。加えて、自宅から通える範囲でした。

## 直前期までの勉強法

私は仕事をしながらだったため、土日にDVDをみて、平日の通勤時間(往復3時間)で復習するようにしていました。

しかし最初のころはただ勉強していたため、ただDVDを見るだけに終わっていたと思います。

今にして思えば、最初からちゃんと復習する癖をつけていれば苦労しなかったのに・・・と後悔しています。

## 直前期からの勉強にあたって

勉強に本腰を入れ始めた1月から、問題がぜんぜん解けないという現状に焦りました。時間がないため、とにかく監督官試験に出る科目しか勉強しないようにしました。模試でも散々な成績で、監督官の模試ではC判定(教養E、専門D、記述C)でした。

とにかく問題をこなすようにところがけましたが、4月には仕事を辞めて集中しないと間に合わないと感じました。仕事を続けながら来年受験するか、思い切ってやめて今年にかけるか悩みました。以前、監督官の方にお話を伺いに行ったのですが、そのとき「なるべく早く監督官になって経験を積んだほうがいい」とおっしゃられたことが心に残っていたこと、自分の年齢、何よりも監督官になりたいという強い思いがあり、退職決意しました。

## 直前期の勉強法

背水の陣でしたので必死でした。

まずストップウォッチで実勉強時間を計り、10時間以上は勉強しました。

解いて間違えた問題は翌日復習するようにしました。

計画表を作り、試験日までに出題科目・範囲を網羅するようにスケジューリングして勉強を進めていきました。

猛勉強の末、試験では手ごたえを得ることが出来、ほっとしたのを覚えています。

## 面接にあたり

まずTACでの模擬面接を約6回こなしました。面接で注意されたところは次の面接では克服できるように、質問問答集を作り、志望動機を練り上げました。TACの模擬面接は何度も受けられるのでありがたかったです。本当に良心的な学校に入れて良かったと感じました。くわえて、新宿校の山下先生にもアドバイスいただいたおかげで面接試験も乗り切ることができました。心より感謝しています。

また監督官の方が書かれた本や監督官の仕事についての本を読んだり、監督署に訪問させていただいてお話をお伺いしたり、人事院主催のセミナーに参加したことも面接で活きました。

## 最後に

私は周囲の皆さまのおかげで監督官試験に合格することができました。

TAC松本校のみなさまをはじめ、面接の先生方、新宿校山下先生、お話をうかがわせていただいた監督官の方々、家族、友人たち、多くの方々に助けていただきました。

本当にありがとうございました。